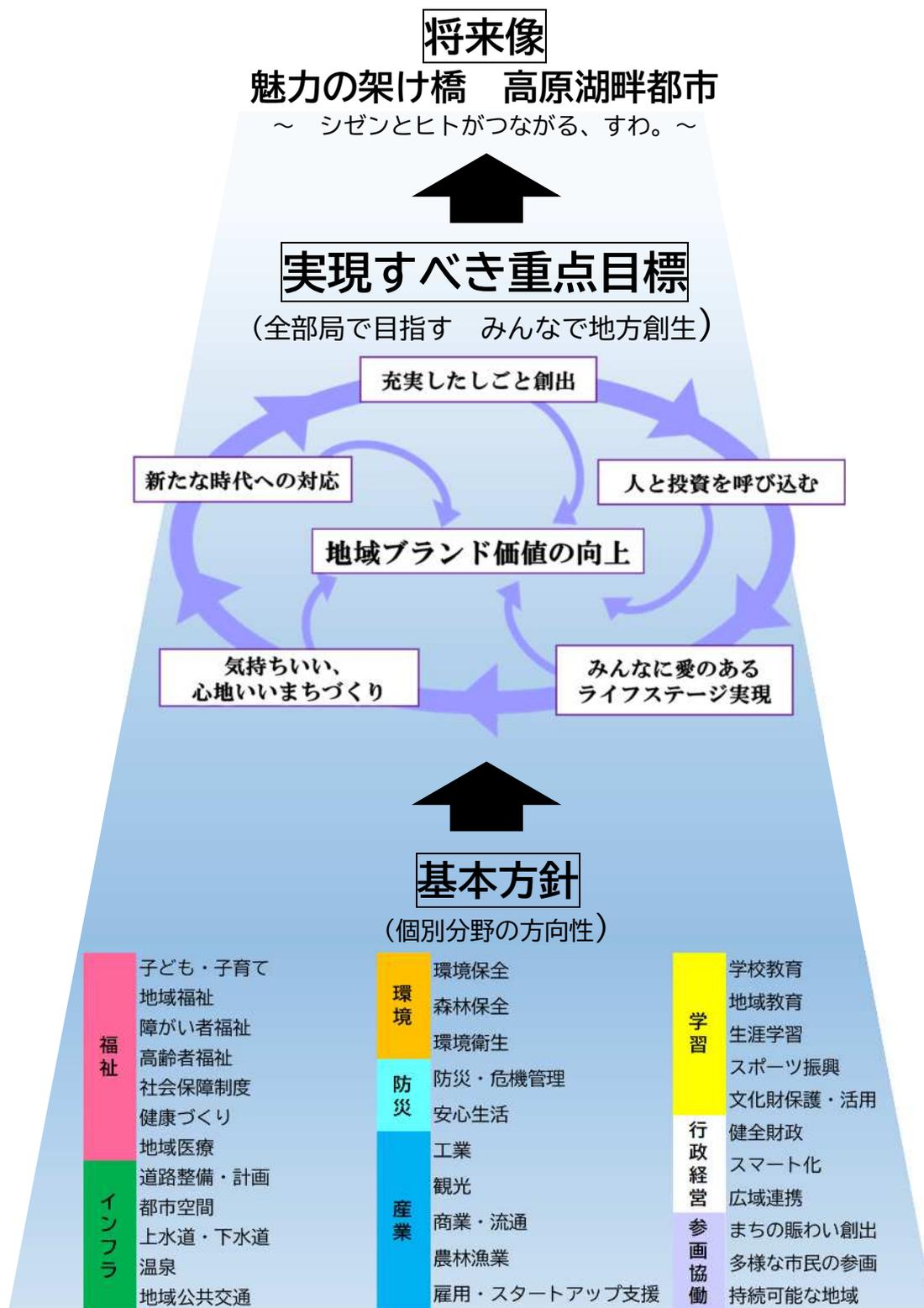


第六次諏訪市総合計画の基本構想について

諏訪市企画政策課

1 基本構想について

基本構想とは、「市のまちづくりに対する基本的な政策を示したもの」です。諏訪市第六次総合計画の計画期間である5年間において、諏訪市の目指すべき将来像やまちづくりに対する基本的な政策により構成されています。



図：総合計画政策体系図

2 将来像

第六次諏訪市総合計画の将来像は、下記の言葉で表されます。

魅力の架け橋 高原湖畔都市 ～ シゼンとヒトがつながる、すわ。～

諏訪市は、標高759mの諏訪湖の畔にある高原湖畔都市です。このまちには、諏訪湖・霧ヶ峰・温泉といった豊かな自然、技術を武器に常に挑戦をし続ける工業、諏訪信仰等を代表とする歴史・文化等多くの魅力が集まっています。これらの魅力は昔から現代まで、多くの人々に支えられて育まれてきたものであり、その人々こそが最も重要な魅力です。

いまある魅力を活かし、つなげていく。魅力同士がつながる架け橋となる場所。その舞台が諏訪市です。この舞台の上で新たな価値が生まれ、輪のようにループしていく。その輪にみんなが入って来なくなる。第六次諏訪市総合計画では、そんな将来像を掲げて実現に向けて動きます。

第六次諏訪市総合計画のタイトルともなる基本構想の将来像は「魅力の架け橋 高原湖畔都市」、副題にキャッチコピーである「シゼンとヒトがつながる、すわ。」を題しました。これは企業の企業理念、経営理念にあたるものです。分野に限らず行政、企業、そして市民、それぞれの立場、役割は違いますが、共通してこの将来像を実現するための取組を行います。

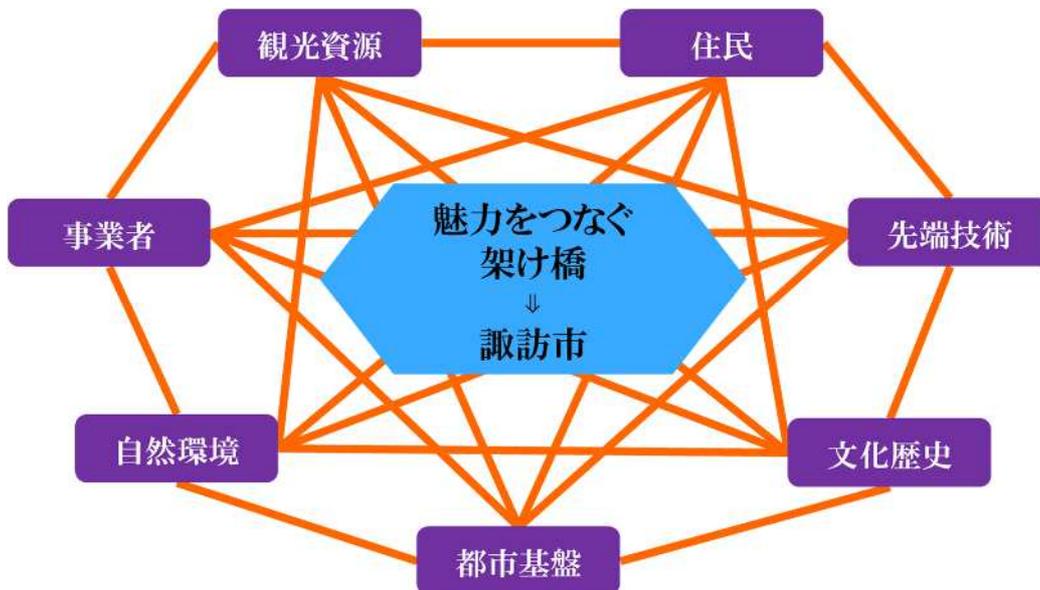
この将来像にはどのような意味や思いが込められているのか。

まず「魅力」という言葉について。諏訪市には多くの価値や魅力があります。主要産業である工業、諏訪湖や霧ヶ峰という恵まれた自然、諏訪大社等を代表とする歴史的文化的文化財、温泉を生かした観光地としての知名度等、数えきれないほどの魅力があります。また、一番重要な魅力はそれらを作り上げた人々、そして今まちの一員である人々です。この大きな、様々な価値を「魅力」という一言に込めています。

その魅力同士をつなげていく。組み合わせることで魅力を活かし、新たな価値である魅力を次々生んでいく場所。それを表したのが「架け橋」です。違うものや2つの異なる場所をつないでいく場所、つながっていく場所という意味を持っています。

では、その魅力同士がつながる場所、実現する場所はどこになるのか。それが諏訪市を示す「高原湖畔都市」です。標高759mという高地にある湖、その畔に市の中心市街地があるということは、全国的にもめずらしいものです。自然に恵まれたまち、標高の高いところにあるまち、湖の畔にあるまちという諏訪市の立地を含めたイメージを一言で表すことのできる言葉であり、諏訪市でしか使えない言葉です。

これらを組み合わせ整理したものが、「魅力の架け橋 高原湖畔都市」という言葉です。

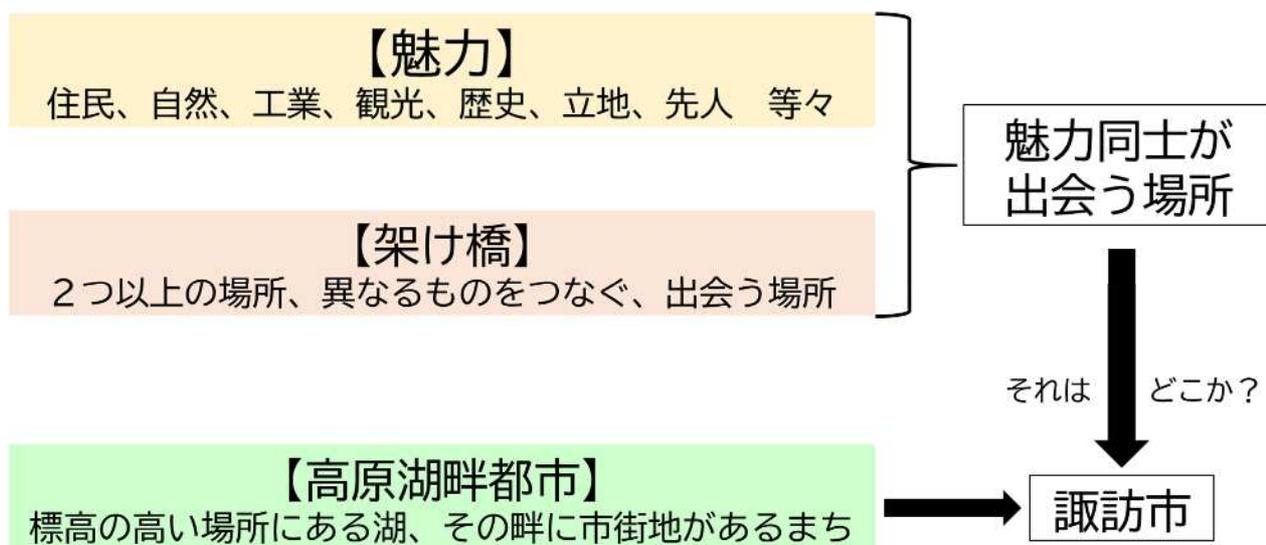


図：魅力をつなぐことによる総合力向上

多くの魅力はあるが、活かしきれていない。個別の活動同士も結び付いていないことは事実です。今あるものや人たちの魅力を高めるには、それぞれを結び付け、 $1+1=2$ 以上、 ∞ を目指す必要があります。

今後5年間、市の総合力を高めていき、「魅力の架け橋 高原湖畔都市」実現に向け動くこととなります。

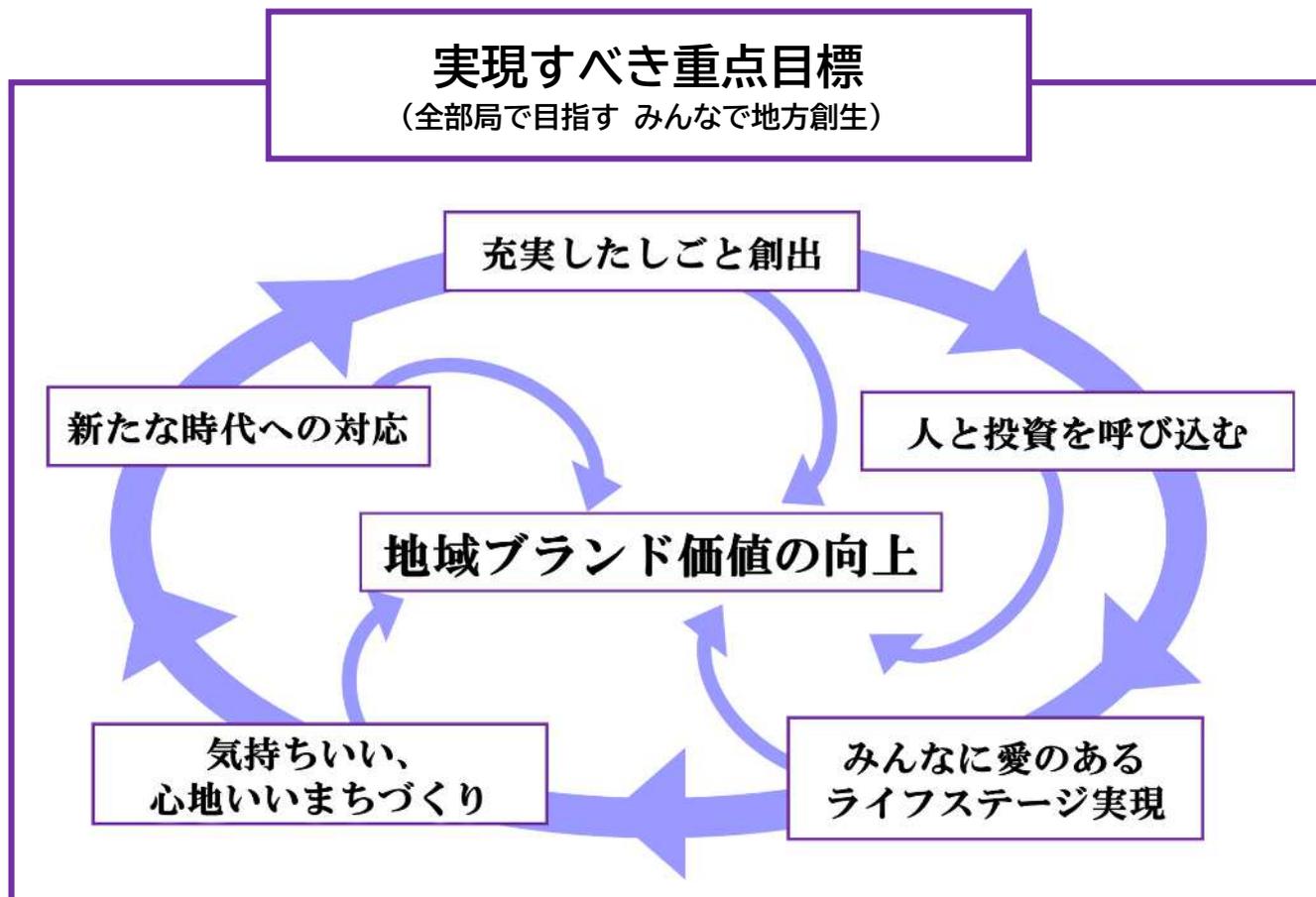
これを実現するために、重点目標、基本方針を設定します。重点目標は全部局で達成すべき目標を示したものの、基本方針は各分野で目指すべき方向性を示したものとなります。



図：将来像主題のイメージ

3 実現すべき重点目標

基本構想を実現するために、部局を横断した6つの実現すべき重点目標を設定しました。これは市全体で分野を越えた連携による取組により達成されるものです。



実現すべき重点目標は分野を越えて目指すべき目標です。これらは、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と横断的な目標である、「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」「新しい時代の流れを力にする」「多様な人材の活躍を推進する」という要素を網羅した上で、諏訪市の地域特性に合致したものを設定しています。達成すべき重点目標は次のページ以降で説明します。

◆ 地域ブランド価値の向上 ◆

全ての取組は「諏訪市」という地域ブランド価値を向上させることにつながります。

地域ブランド価値は、特定分野の取組だけでは向上しません。福祉、学習、環境、インフラ、産業、防災、住民の参画等多くの要素を掛け合わせることで実現します。

これまでも諏訪市では、高度な部品加工技術を完成品とすることで技術面からPRする「SUWAプレミアム」、多くの観光資源を発掘し多くのチャンネルを利用して観光地諏訪をPRする「諏訪の国」、地域の名産や特色を生かし観光客や友人への手土産としてPRする「諏訪市推せんみやげ品」、昔からタイムスリップしてきたお姫様という萌えキャラによるPRをした「諏訪姫」、見た目のロゴと言葉の組合せにより諏訪市への興味をもってもらうためのキャッチコピーとロゴ等、多くのツールを活用したPRをしてきました。これらの最終的な目標は「諏訪市」という地域ブランドの価値を向上させるためにあります。

「諏訪市」という地域ブランド価値の向上

個別の取組の相乗効果により…



今後も、各分野において魅力を高めることは重要ですが、待ちの姿勢ではなく、自ら魅力を発信していく攻める姿勢が必要です。今ある魅力や情報が幅広く行き届くことで、情報が広まり知ってもらえると同時に、人と人とのつながり、新たな価値が創造され、地域ブランド価値の向上につながります。

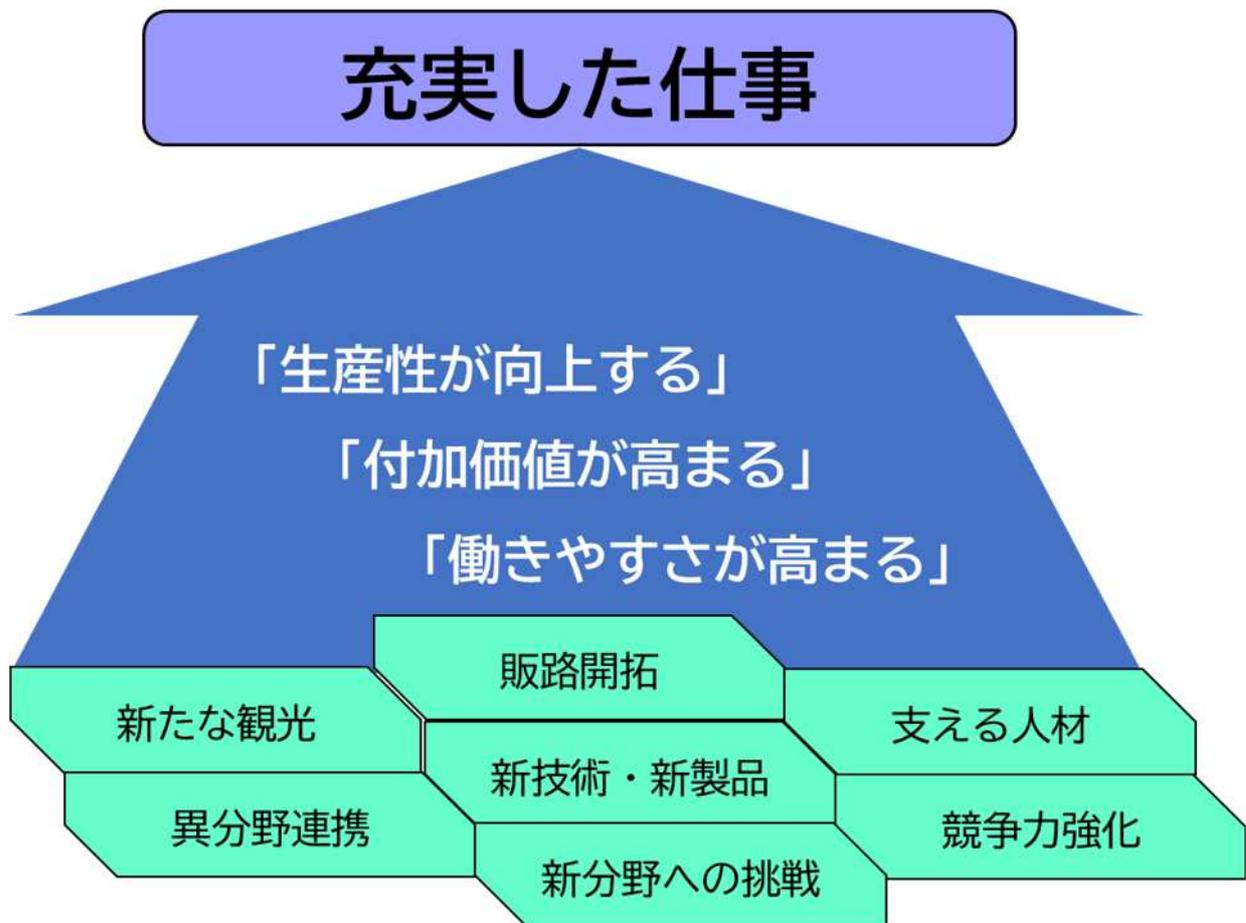
それを促すために、広報部局に限らず、どの部局においても積極的な情報・魅力発信をしていく必要があります。全ての「知りたい」を発信し新たな価値を生み出すことで、諏訪市というブランドの価値を向上させ、みんなが誇れるまちを実現します。

◆ 充実したしごと創出 ◆

住民が安心して生活をするため、生計を立てるために重要な要素は「しごと」です。就職できる場所があることで、人々の生活が安定するとともに、U I J ターンにもつながります。

今までも諏訪市では、基幹産業である工業の振興のために新技術開発、人材育成、販路開拓等の支援を実施してきました。観光面からはより魅力ある観光コンテンツの醸成を進めています。さらには、それらの価値を組み合わせる新たな価値を生むという産業間の連携を実現してきました。

今後は、今ある仕事を維持し成長を目指すと同時に、生産性や付加価値を高めることにより、より稼げる地域になると共に、仕事への魅力や従業員の生活が向上、働きやすさも実現されると考えます。

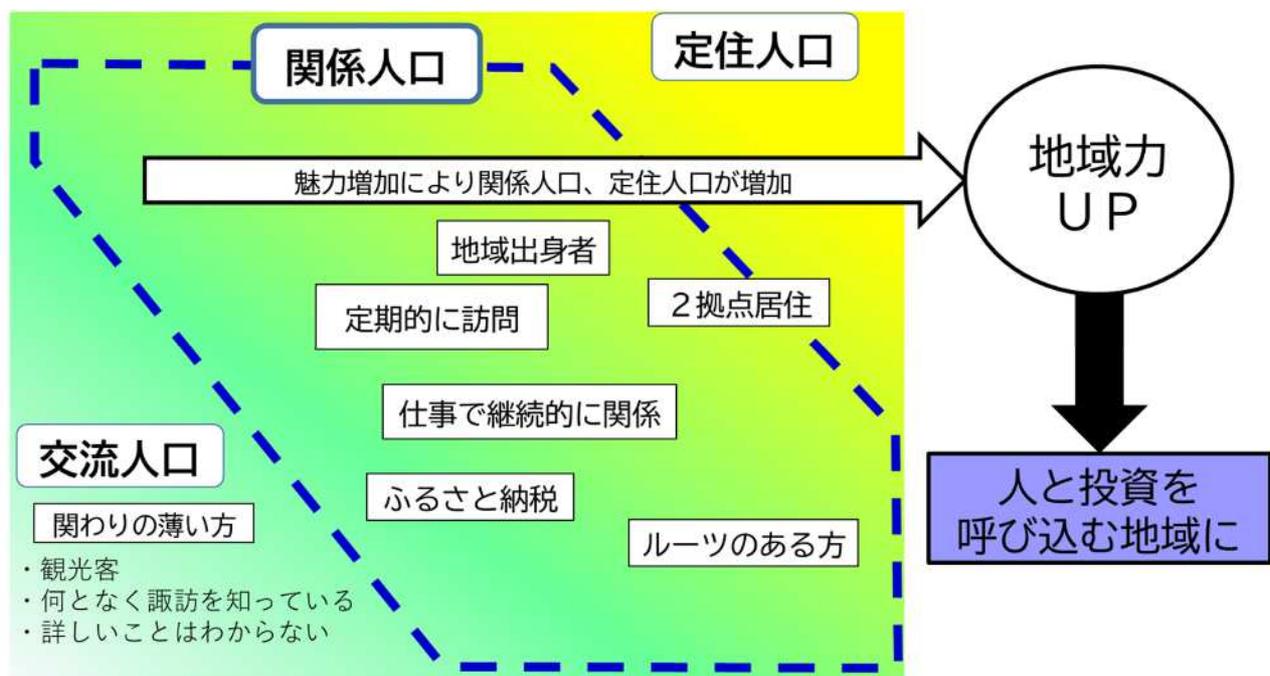


主要産業である製造業に関わらず、観光業、商業、農林業、今後生まれる新たなしごとといった多岐にわたる分野において、稼ぐことのできるまちの実現をめざします。

◆ 人と投資を呼び込む ◆

多くの人から行ってみたい、住んでみたいと思われるために必要な魅力。地方創生のためには観光客を表す交流人口だけではなく、地域と幅広い面につながる関係人口を増やす必要がありますが、関係人口を増やすためには、地域の魅力を向上させることが必要です。住んでみたい、行ってみたいと思われる魅力を生み出すことで、人の流れを作るとともに、地域に投資を呼び込み新たな魅力を生み出す環境が実現されます。

関係人口とは住民や移住者はもちろん、都心に住んでいながらも諏訪市を舞台に仕事をしている方、定期的に諏訪市を訪れて余暇を楽しむ方や仕事をされる方、ふるさと納税等を活用して定期的に諏訪市と関係を持たれる方等たくさんの方のことです。このような方に多方面から諏訪市の魅力を知ってもらうことで、移住等の人の流れ、仕事をする舞台としての選択、仕事のパートナーとしての地域等として、人と投資が集まっていく地域とする必要があります。



最も市と深い関係にある住民が魅力を知り、自らが魅力を磨き上げる。今ある魅力を自ら知り、魅力を向上させると同時に、それを広く発信していきます。

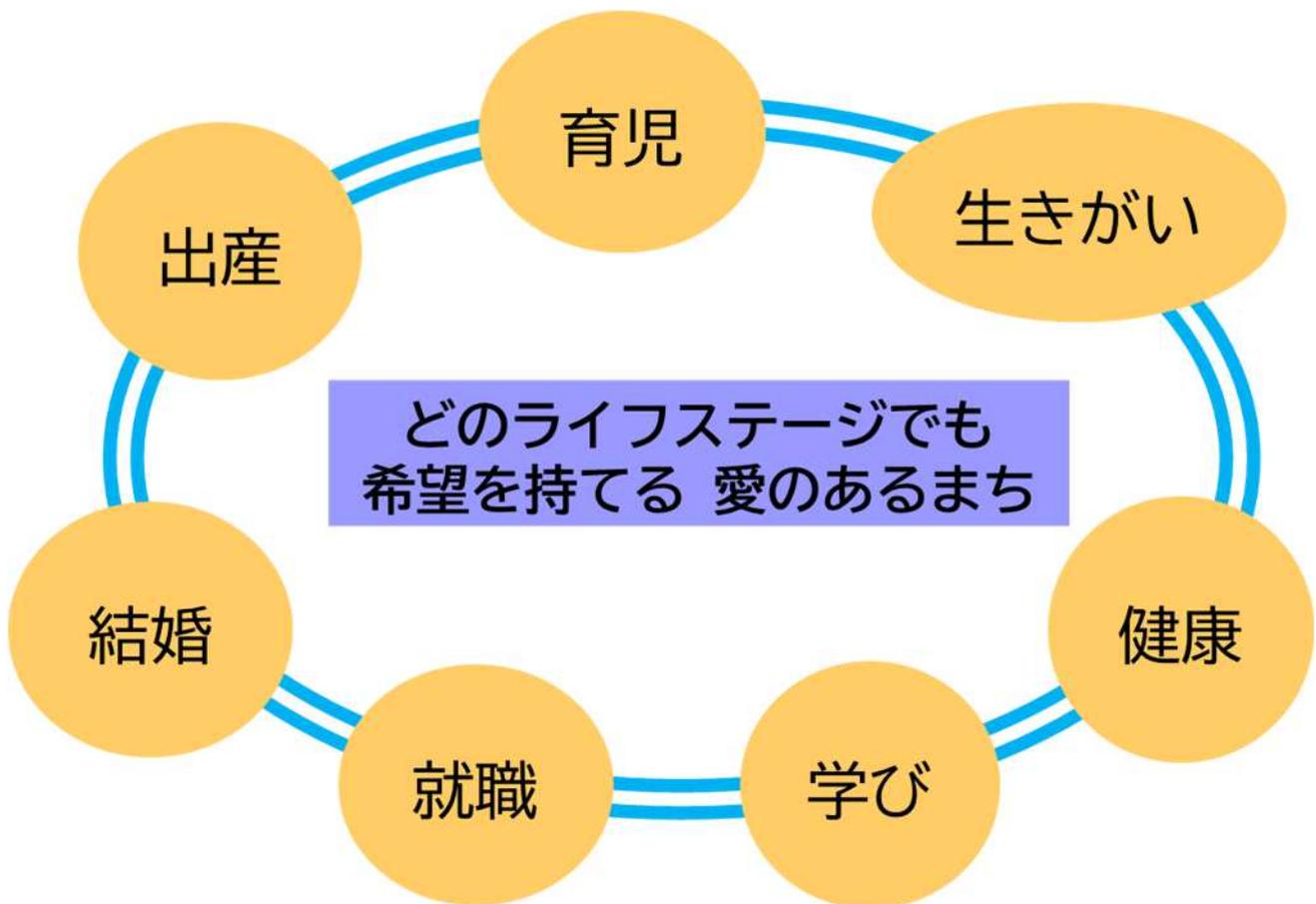
また、人の流れを地方に向けることが、東京一極集中の是正にもつながります。諏訪市に、人の流れを向け、地方創生を実現します。

◆ みんなに愛のあるライフステージ実現 ◆

妊娠、出産、子育て、進学、就職、老後。人々は人生のライフステージを歩んでいきます。このまちで子育てをしていきたい、その後もずっと暮らしていきたいと思われるためには、ライフステージに沿った環境が必要です。特に結婚、出産、子育てがしやすい、仕事との両立ができるまちであることは、子育て期だけではなく先を見据えたライフステージ組立につながります。

地方創生といった観点からも、少子高齢化を克服するには出生数を増やすことが重要です。そのためには何が必要なのか。安心して出産をして、育児ができる。そして自らのキャリアを考えた時には子育てと仕事を両立できる。引退後も充実した暮らしができる。長い人生、どのライフステージにいても希望を持って生活できるまち。そのために、どんな立場の人に対しても充実した＝愛のあるまち、全ての人が希望を持てるライフステージ実現を目指します。

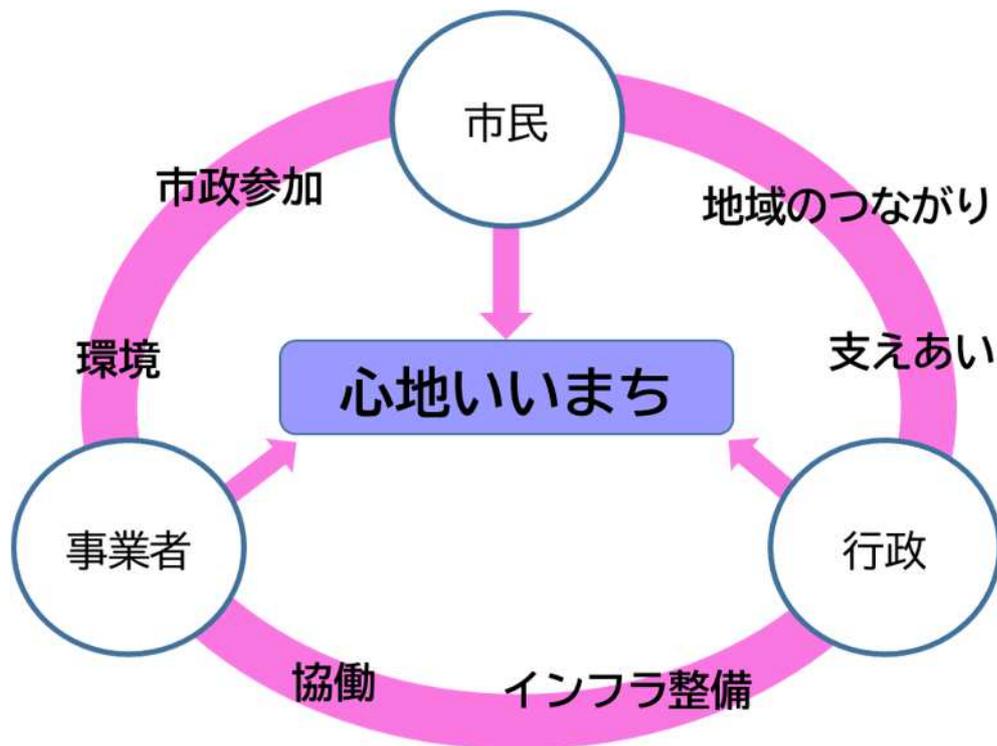
また、前述のしごとの充実が実現されることが、充実したライフステージの実現につながります。他分野同士でのつながり、その相乗効果も念頭に置いています。



◆ 気持ちいい、心地いいまちづくり ◆

穏やかな日常を過ごすために必要なものは「安心」です。インフラの充実も必要ですが、住民同士のつながり、災害や病気といういざというときの対処が充実していることで、心配事を減らし安心できる日常が生まれます。また、穏やかな生活に必要なものは心地よさです。気持ちのいい、心地いいまちは住民に対してだけでなく、訪れる人にとっても魅力的。諏訪市に関わる全てのひとが快適に過ごすことができるまちを目指します。

また、まちづくりには住民の市政参加が必須です。住民の市政参加意欲を醸成し、協働した二人三脚でまちづくりに取組んでいきます。



【防災（市民参加の防災訓練）】



【道路整備（柳並線）】

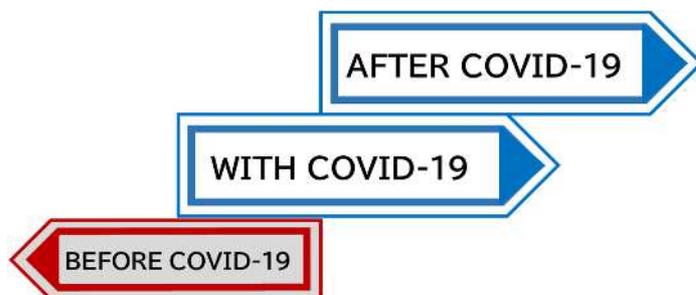
◆ 新たな時代への対応 ◆

少子高齢化、技術革新、SDGsといった新たな考え、多様な価値観の表面化等、時代は急速に変化しています。新たなものへの挑戦は困難ですが、挑戦しなければ時代遅れの自治体となってしまいます。近年の技術革新や新型コロナウイルス感染症拡大を機に、行政サービスの提供方法や行政事務の手法が大きく変化しています。また、今後も持続的な環境、社会、経済を実現するためにはSDGsを代表とする新たな考え方の導入や推進をすることが必要とされています。

アフターコロナ・ウィズコロナを見据え、時代に沿った自治体として進化し続けるとともに、多様な価値観をもつ多くの人々が活躍できる場を実現します。



【SDGs】



【アフターコロナ、ウィズコロナ時代への対応】



【テレワーク、ワーケーション】



【カーボンニュートラル】

行革機動隊 S.A.C
SUWA ACTION CODE #1

【行政事務のスマート化】

5 基本方針

基本構想の実現及び実現すべき重点目標達成のため、各個別分野で取組む 33 の方針を基本方針として設定しました。

No.	分野	方針
1	福祉	子ども・子育て
2		子育ての希望が叶い、子どもが幸せに輝く
3		地域福祉
4		みんなでの助け合い、支え合い
5		障がい者福祉
6		障がいのある人もない人も共に生きる地域
7		高齢者福祉
8	学習	誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり
9		社会保障制度
10		健康で文化的な生活の保障
11		健康づくり
12		健康でいきいきとした暮らし
13	環境	地域医療
14		住み慣れた地域での医療及び包括ケアの充実
15		学校教育
16	インフラ	自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる
17		地域に学び、地域に生きる子どもを育てる
18		生涯学習
19		学びや文化芸術に、親しみ、活かし、つなぐ
20		スポーツ振興
21	産業	誰もが気軽に楽しく親しめるスポーツ
22		文化財保護・活用
23		諏訪の特色である文化遺産を守り、活かす
24		環境保全
25		緑豊かな自然環境の保全
26	防災	森林保全
27		貴重な森林を守り育てる
28		環境衛生
29		快適な生活環境を住民に
30		道路整備・計画
31	参画協働	道路環境整備と広域交通ネットワーク
32		都市空間
33		地域特性を活かした快適な住環境整備
34		上水道・下水道
35		上水道、下水道の安心利用
36	行政経営	温泉
37		天与の恵み 温泉の享受と活用
38		地域公共交通
39		持続可能な地域公共交通と輸送サービス構築
40		工業
41	参画協働	選ばれ続けるものづくり地域
42		観光
43		“SUWAらしい”があふれる観光地
44		商業・流通
45		生活を支える、ホットする温かさ
46	参画協働	農林漁業
47		農林漁業を守り、育て、活かす
48		雇用・スタートアップ支援
49		働きやすさと挑戦の後押し
50		防災
51	参画協働	防災・危機管理
52		自分とみんなを災害から守る
53		安心生活
54		地域ぐるみで守る安心生活
55		参画協働
56	参画協働	まちの賑わい創出
57		集まる賑わい、つながる賑わい
58		多様な市民の参画
59		多様な人材が活躍できる環境整備
60		持続可能な地域
61	行政経営	地域活動の活性化による持続可能な自治
62		健全財政
63		行政資源の効果的活用
64	行政経営	スマート化
65		新時代行政への変革
66	行政経営	広域連携
67		圏域全体が連携してめざす諏訪の地域力向上

それぞれ方針毎にK P Iを定めています。事業の成果ではなく、事業によりもたらされる成果を表すアウトカムベースの項目を設定しています。全分野、K P Iには市民満足度調査の結果が含まれています。市民の評価がそのまま市政運営の指標となります。